NTT

第5版

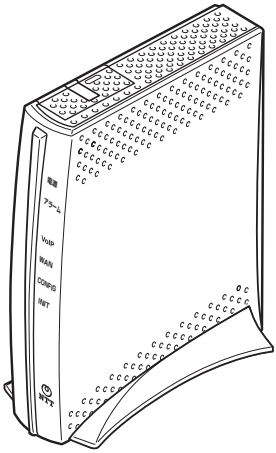
「ひかり電話対応VoIPアダプタ」

AD-200NE

取扱説明書

このたびは、「ひかり電話対応VoIPアダプタ」AD-200NEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたって

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

【返却される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

⚠警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠警　告

● **水が装置内部に入った場合**
万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源アダプタの取り扱い注意**
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。
過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの設置の注意**
電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● **電源コードの取り扱い注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠警　告

● **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

● **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100 ± 10V（50/60Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が 2 つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

● **分解改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

⚠警　告

その他のご注意

- **異物を入れないための注意**
  本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**

- **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。**
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

- **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。**
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本商品やケーブル、モジュラージャックや電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **湿度の高い場所への設置禁止**
ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85％以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **本商品を逆さまに置かないでください。**

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠注　意

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● **高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。**
社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

電源

● **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

● **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注　意

その他のご注意

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **本書にしたがって接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

● **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
・ほこりや振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

● **本商品は、スタンドを取り付けて設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。**

● **本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）**
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**

● **無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。**

● **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

● **本商品の隙間から虫（ゴキブリなど）が入ると、故障の原因となることがあります。**
・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

STOP お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
  ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
  ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約および本商品へのひかり電話設定が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響をおよぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- 「まるごと設定ツール」により本商品に設定を行うと、本商品が再起動します。ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「まるごと設定ツール」から本商品を再起動できません。ひかり電話のご使用やパソコンなどの通信をしていない状態で、本商品の設定を行ってください。
- 「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」での［登録］ボタンなど本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。

● 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）

お客様情報に関する注意事項

● 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。

● 本商品を返却される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。

● 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

● 最大 54 Mbps（規格値）や最大 11 Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

● 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。

● IEEE802.11a の屋外での使用は電波法により禁止されています。

電波に関するご注意
(SC-32NE 装着時にお読みください)

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- **本商品 (*) は、日本国内でのみ使用できます。**
- **次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。**
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋どうし
- **本商品 (*) と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。**
- **本商品 (*) をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **本商品 (*) を 5.2GHz 帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz 帯の電波を無効にしてください。**
- **本商品 (*) は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - ・本商品 (*) を分解／改造すること
- **本商品 (*) は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40 m です。**

本商品 (*) に表示した

は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40 m 以下
■ ■ ■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品 (*)」はここでは、SC-32NE 装着時を示します。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(SC-32NE 装着時にお読みください)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、不正にひかり電話を利用する（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、「7-8 お客様サポートのご案内」（☛7-28 ページ）記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ……2
ご利用前の注意事項……13
目次……17
「機能詳細ガイド」目次……20
マニュアルの読み進めかた……21
「AD-200NE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた……22

1章　最初に確認する

1-1　セットを確認してください……1-2
1-2　各部の名前……1-4
1-3　あらかじめ確認してください……1-6
パソコンの準備 ……1-6
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備 ……1-7

2章　本商品を設置する

2-1　設置・接続……2-2
スタンドを付ける ……2-2
本商品を設置する ……2-2
回線に接続する ……2-3

3章　ひかり電話の使いかた

3-1　ひかり電話の使いかた……3-2
ひかり電話のかけかた ……3-3
電話の受けかた ……3-4
内線通話 ……3-4
内線転送 ……3-4
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する……3-5
キャッチホン ……3-5
ナンバー・ディスプレイ ……3-6
発信者情報（番号）の通知について ……3-7
複数チャネルを利用する ……3-8
追加番号を利用する ……3-8

3-3　パソコンでひかり電話の設定をする……3-9
ひかり電話の設定をするには ……3-9
内線番号設定……3-17
ひかり電話の電話番号……3-17
個別着信……3-17
一斉着信……3-18
着信鳴り分け……3-18
ダイヤルイン……3-18
優先着信ポート……3-19
指定着信機能……3-20
3-4　電話機でひかり電話の設定をする……3-21
電話機からひかり電話の設定をするには……3-21
3-5　複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する……3-23
ファクスと電話で使い分けたいときには……3-23
事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには……3-24
2世帯で電話を鳴り分けて使うには……3-25
ひかり電話に対応した無線IP端末を利用したいときには……3-26
追加番号を利用せず指定着信機能を利用して
特定のアナログ端末で着信したいときには……3-27
本商品にビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムを接続して
使用するには……3-28

4章　無線LANのご利用について
4-1　設定方法を確認してください……4-2
4-2　無線LAN 設定の流れ……4-3
4-3　本商品への無線LANカードの取り付け……4-4
4-4　本商品へ無線LANの設定をする……4-6
「Web 設定」を起動する……4-6
無線LANの設定をする……4-7

5章　本商品のバージョンアップ
5-1　本商品のバージョンアップの流れ……5-2
5-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする……5-3
バージョンアップお知らせ機能の機能概要……5-3
バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する……5-4
最新のファームウェアがあるか確認する（［手動更新］の場合）……5-7
バージョンアップ方法（［手動更新］の場合）……5-10
5-3　当社ホームページよりファイルをダウンロードして
バージョンアップする……5-13
「Web 設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］
からファイルを指定してバージョンアップする……5-13

6章　故障かな？と思ったら

6-1　設置に関するトラブル……6-2
6-2　ご利用開始後のトラブル……6-6
6-3　停電復旧後のトラブル……6-8

7章　付録

7-1　パソコンのネットワーク設定……7-2
Windows Vista™をご利用の場合……7-3
Windows® XP をご利用の場合……7-5
Windows® 2000 をご利用の場合……7-7
Windows® Me/98 をご利用の場合……7-9
Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）……7-11
JavaScript® の設定をする（Windows® 共通）……7-12
Mac OS Xをご利用の場合……7-14
Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合……7-15
JavaScript® の設定をする（Mac OS）……7-16
7-2　無線 IP 端末の設定をする……7-17
7-3　本商品の初期化……7-18
7-4　用語集……7-19
7-5　索引……7-24
7-6　仕様一覧……7-26
7-7　インタフェース……7-27
7-8　お客様サポートのご案内……7-28

「機能詳細ガイド」目次

付属の「AD-200NE 専用 CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、22 ページをご覧ください。

1. 機能詳細説明

機能一覧
－電話機能－
ひかり電話
－ネットワーク機能－
IP マスカレード
静的 IP マスカレード
DHCP サーバ
－無線機能－
IEEE802.11a 無線 LAN
IEEE802.11b 無線 LAN
IEEE802.11g 無線 LAN
暗号化
MAC アドレスフィルタリング機能
無線ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）
－その他の機能－
管理者パスワードの変更
時刻設定
ファームウェア更新
情報表示（装置情報、状態表示）
通信情報ログ

2. Web 設定

「Web 設定」の使いかた
起動のしかた
トップページ
登録のしかた
－電話設定－
ひかり電話共通設定
内線番号設定
・内線設定（アナログ端末）
・内線設定（IP 端末）
－無線 LAN 設定－
無線 LAN 設定
MAC アドレスフィルタリング
－詳細設定－
LAN 側設定
DHCP 手動設定
静的 IP マスカレード設定
高度な設定
－メンテナンス－
管理者パスワードの変更
時刻設定
設定値の保存＆復元
設定値の初期化
ファームウェア更新
－情報－
現在の状態
通信情報ログ

3. 無線機能の使いかた

無線機能の使いかた
無線 LAN カードの使いかた
無線セキュリティ
〈「Web 設定」で設定する〉
－無線 LAN 設定－
無線 LAN 設定
MAC アドレスフィルタリング

4. ひかり電話の使いかた

ひかり電話の使いかた
本商品に接続できる機器について
アナログ端末を接続するには
IP 端末（音声）を接続するには
IP 端末（映像）を接続するには
〈「Web 設定」で設定する〉
－電話設定－
ひかり電話共通設定
内線番号設定
・内線設定（アナログ端末）
・内線設定（IP 端末）
〈電話機で設定する〉
・電話機からひかり電話の設定をするには
・バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定するには
・本商品を再起動するには

5. その他（付録）

その他（付録）
用語集

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●最初にお読みください
本商品の接続、ひかり電話の設定をわかりやすく説明しています。

●取扱説明書（本書）
本商品の接続のしかた、無線 LAN の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（ CD-ROM ：HTML ファイル）
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、無線 LAN に接続するまでの流れは、下記のようになります。

付属品の確認をします
「1-1 セットを確認してください」

▼

取り付けます
「2 章 本商品を設置する」

▼

ひかり電話を利用します
「3 章 ひかり電話の使いかた」

▼

無線 LAN の設定をします
「4 章 無線 LAN のご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

「AD-200NE 専用 CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1 「AD-200NE 専用 CD-ROM」をパソコンにセットする

※Windows ® をご利用の場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラが自動的に起動します。
「まるごと設定ツール」をインストールすると、「機能詳細ガイド」も自動的にインストールされます。その場合は、[スタート]（Windows® のロゴボタン）－[すべてのプログラム]（Windows® 2000 では [プログラム]）－ [AD-200NE まるごと設定ツール] － [機能詳細ガイド] をクリックしてください。

※「まるごと設定ツール」をご利用になれる OS は、Windows Vista™および Windows® XP/2000 です。

※「機能詳細ガイド」を CD-ROM からご覧になる場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラの［キャンセル］をクリックしてインストーラを終了します。

2 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

Windows ® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
※Windows Vista™は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
Windows ® XP は、Microsoft ® Windows ® XP Home Edition operating system および Microsoft ® Windows ® XP Professional operating system の略です。
Windows ® 2000 は、Microsoft ® Windows ® 2000 Professional operating system の略です。
Windows ® Me は、Microsoft ® Windows ® Millennium Edition operating system の略です。
Windows ® 98 は、Microsoft ® Windows ® 98 operating system の略です。
Windows ® 98SE は、Microsoft ® Windows ® 98 Second Edition operating system の略です。
本書では、Windows ® 98 と Windows ® 98SE を含めて、Windows ® 98 と表記しています。
Netscape ® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
Mac、Macintosh は、米国その他の国々で登録された Apple Computer.Inc の商標です。
JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品の「AD-200NE 専用 CD-ROM」は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。
付属品の「AD-200NE 専用 CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

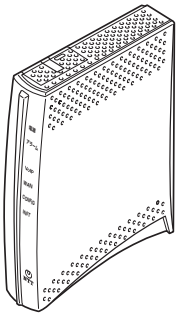
1 最初に確認する

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

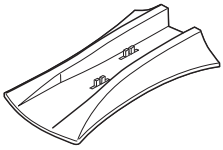
1-1　セットを確認してください……1-2
1-2　各部の名前……1-4
1-3　あらかじめ確認してください……1-6

1-1 セットを確認してください

■本体

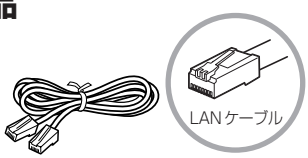


「ひかり電話対応 VoIP アダプタ」
AD-200NE（1 台）

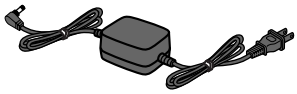


スタンド（1 台）

■付属品

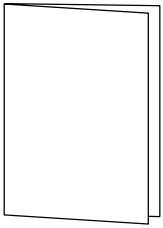


LAN ケーブル（1 本）



電源アダプタ（1 個）

取扱説明書
（本書 1 冊）



最初にお読みください
（1 枚）

AD-200NE
専用 CD-ROM（1 枚）

NTT 通信機器お取扱
相談センタシール（1 枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

■お客様にご用意いただくもの

＜ひかり電話のご利用に必要なもの＞

電話機

有線 IP 端末

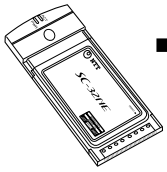
※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「✳」や「#」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。
※ホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などを直接接続できません。
※電話機コードもご準備ください。

●開通のご案内
●加入者網終端装置（CTU）など当社が設置した機器

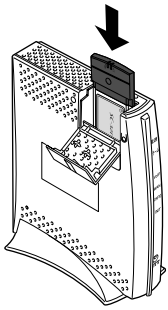
＜本商品の設定に必要なもの＞

LAN ポートを持ったパソコン

＜ひかり電話に対応した無線 IP 端末のご利用に必要なもの＞



専用無線 LAN カード
SC-32NE

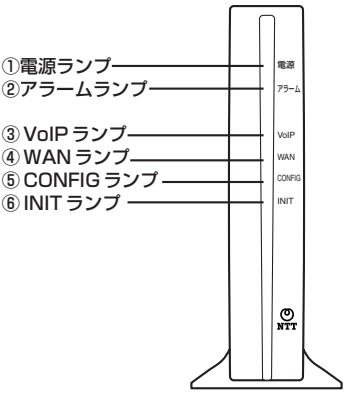


※本商品の側面の拡張カードスロットに装着して使用します。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



【ランプ表示】

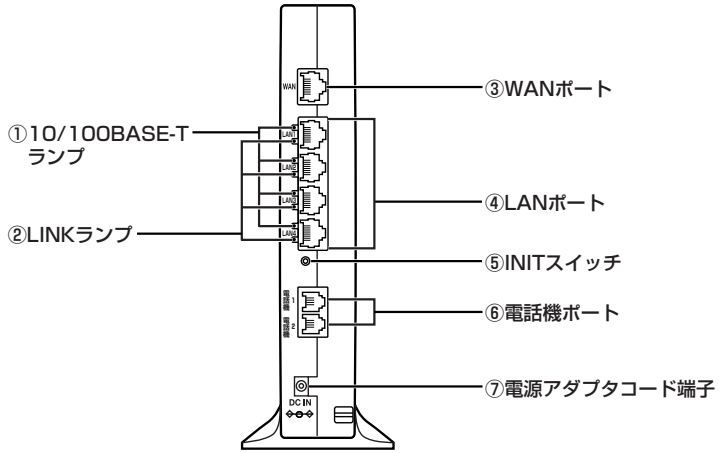
ランプの名称	表示（色）		機能説明
① 電源ランプ	－	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
② アラームランプ	－	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。 ※「6 章　故障かな？と思ったら」（☛6-1 ページ）を参照してください。※ 1
③ VoIP ランプ	－	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
④ WAN ランプ	－	消灯	WAN 回線が利用できません。
	緑	点灯	WAN 回線が利用できます。
		点滅	WAN 回線でデータ通信中です。
⑤ CONFIG ランプ	－	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定が失敗しました。（認証エラー）
		点滅	ひかり電話の設定が失敗しました。（その他エラー）
⑥ INIT ランプ	－	消灯	通常の状態です。
	赤	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※ 1 ※ 2

※　本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。

※ 1　ファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプと INIT ランプが赤点灯します。

※ 2　本商品が工場出荷状態（INIT ランプ赤点灯）でも、電源を入れたあと、VoIP ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「まるごと設定ツール」や「Web 設定」、電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、INIT ランプは消灯します。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		機能説明
① 10/100BASE-T ランプ（4個）	－	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	緑	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4個）	－	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して加入者網終端装置（CTU）の LAN ポートと接続するためのポートです。
④LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブルを使用して有線 IP 端末やパソコン（※ 1）と接続するためのポートです。
⑤INIT スイッチ	－	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑥電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 （電話機コードは付属していません。）
⑦電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

※ 1　本商品の設定を変更する場合に接続します。

1-3 あらかじめ確認してください

ひかり電話の設定を変更する場合は、下記の「パソコンの準備」、次ページの「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」をご確認ください。
ひかり電話の設定を変更せずにご利用になる場合は、必要ありません。

パソコンの準備

●LAN ポートの準備
本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（100BASE-TX または 10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書にしたがって正しく行ってください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了
本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアを元に戻してください。

●ひかり電話に対応した無線 IP 端末をご利用になるには
本商品に装着する無線 LAN カードとして SC-32NE が必要です。

STOP お願い

●インターネットの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記の OS に対応しています。
・Web ブラウザによる設定を行う場合
　Windows Vista™および Windows® XP/2000/Me/98、Mac OS X/9.x/8.x
・「まるごと設定ツール」を利用して設定を行う場合
　Windows Vista™および Windows® XP/2000
　「まるごと設定ツール」では本商品に無線 LAN カードを装着し、ひかり電話に対応した無線 IP 端末を接続するための設定を行います。

本書では、Web ブラウザによる設定方法を説明します。
Web ブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。（2007 年 7 月現在）
　Windows Vista™の場合
　・Internet Explorer 7.0 以上に対応
　Windows® XP SP2 の場合
　・Internet Explorer 6.0 SP2 以上に対応
　Windows® XP/2000/Me/98 の場合
　・Internet Explorer 6.0 SP1 に対応
　Mac OS X 10.4/10.3/10.2 の場合
　・Netscape® 7.1 以上に対応
　Mac OS X 10.1/Mac OS 9.x/8.x の場合
　・Netscape® 7.02 に対応

● Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。（☛7-11 ページ）

● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript®」を有効にしてください。
（Windows® の場合 ☛7-12 ページ、Mac OS の場合 ☛7-16 ページ）

● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］を選択してください。（☛7-11 ページ）

● お使いの Web ブラウザによっては、「Web 設定」の画面の［閉じる］をクリックしてもウィンドウが閉じないことがあります。メニューの［ファイル］から［ウィンドウを閉じる］または［閉じる］を選択して閉じてください。

● お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

● Web ブラウザの「戻る」、「進む」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

2 本商品を設置する

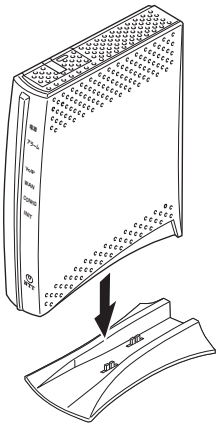
本商品の設置・接続をします。

2-1　設置・接続……2-2

2-1 設置・接続

スタンドを付ける

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。

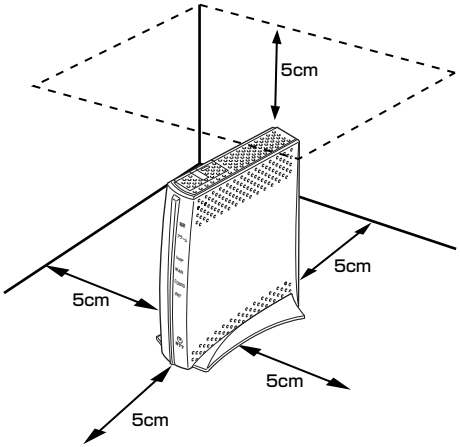


⚠ 注 意

本商品は横置きでのご使用はできません。

本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



⚠ 注 意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫や TV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。

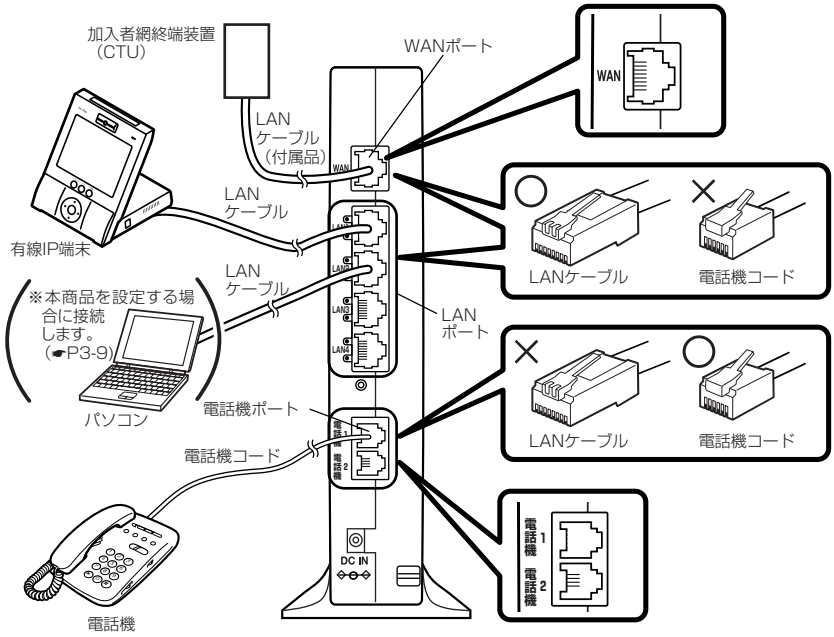
回線に接続する

本商品を回線に接続します。

1 加入者網終端装置（CTU）の再起動が必要ないことを確認する

確認方法は、最新の「加入者網終端装置（CTU）ガイドブック」をご参照ください。

2 本商品のWANポートと加入者網終端装置（CTU）をLANケーブルで接続する



STOP お願い

●本商品と加入者網終端装置（CTU）の間にHUBなどを接続しないでください。

3 電話機を接続する

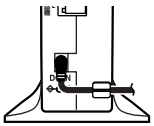
本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

4 有線IP端末を接続する

本商品のLANポートと有線IP端末を接続します。
有線IP端末、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※有線IP端末をご利用になる場合のみ接続してください。

（次ページに続く）

5 電源アダプタのコードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

6 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は、本商品前面のアラームランプと INIT ランプが同時に赤点灯します。バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。
詳細については「5-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛5-3 ページ）を参照してください。

7 VoIP ランプが緑点灯することを確認する

VoIP ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））

ひかり電話をご利用になるには「3 章　ひかり電話の使いかた」（☛3-1 ページ）を、本商品に専用無線 LAN カード SC-32NE を装着してご利用になる場合は「4 章　無線 LAN のご利用について」（☛4-1 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- インターネットへの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。詳しくは最新の「加入者網終端装置（CTU）ガイドブック」をご参照ください。
- 本商品の設定を変更するときに限り、本商品のLAN ポートにパソコンを接続します。
- ひかり電話に対応していないIP 端末を接続した場合、正常に動作しない場合があります。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「 」または「 」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機などを直接接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- 有線IP 端末の電源を入れ、本商品背面の有線IP 端末を接続したLAN ポートのLINK ランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、VoIP ランプ、WAN ランプ、CONFIG ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「6 章　故障かな？と思ったら」（☛6-1 ページ）をご覧ください。
- 本商品を設定する場合、本商品のLAN ポートにパソコンを接続します。本商品が起動してからパソコンの電源を入れ、本商品背面にあるパソコンを接続したLAN ポートのLINK ランプが緑点灯することを確認してください。LAN ポートに空きがないときは、LAN ポートに接続している有線IP 端末を外して、パソコンを接続してください。

3 ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

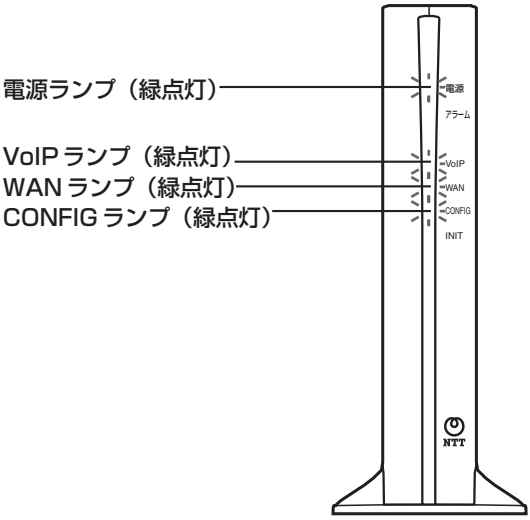
※ひかり電話をご利用いただくためには、サービスのご契約が必要です。

3-1　ひかり電話の使いかた ……3-2
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する ……3-5
3-3　パソコンでひかり電話の設定をする ……3-9
3-4　電話機でひかり電話の設定をする ……3-21
3-5　複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する ……3-23

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面の VoIP ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

ひかり電話のかけかた

①本商品前面の VoIP ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
　通常通り電話番号をダイヤルすると発信します。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順３で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、 ✱ 、指定着信番号（最大 19 桁）をダイヤルします。

〈例〉0312345678　✱1234
　　↑　　↑
　電話番号　指定着信番号

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」(☛3-20 ページ) を参照してください。

お知らせ

●本商品前面の VoIP ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。(「6 章故障かな？と思ったら」(☛6-1 ページ) を参照してください。)
●本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)
●お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセットを置いたままダイヤルする機能）を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
●最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「 # 」(シャープ) を押してください。
●指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「 # 」(シャープ) を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
●通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて２秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
●上記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新版のファームウェアが公開されています。「✱ ✱ ✱ 1 1」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。(詳しくは「5-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」「バージョンアップ方法（[手動更新]の場合)」(☛5-10 ページ) を参照してください。)

電話の受けかた

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。
②通話が終わったらハンドセットを置きます。

お知らせ

●「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」での［登録］ボタンなど本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線 IP 端末、LAN ポートに接続された IP 端末などを呼び出して、通話することができます。

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-12 ページ、IP 端末 ☛3-15 ページ）
③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線 IP 端末、LAN ポートに接続された IP 端末などに取りつぎます。

①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-12 ページ、IP 端末 ☛3-15 ページ）
③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
④ハンドセットを置いて転送を実行します。

お知らせ

●同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか 1 通話です。
●内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「＃」（シャープ）を押してください。
●フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 **お話し中に「プップッ･･･」という割込み音が聞こえる**

2 **相手の方に伝え、フッキングする**
最初に話していた方との通話は保留されます。

3 **あとからかけてきた方とお話しする**
最初に話していた方には保留音が流れます。

4 **最初に話していた方とお話しするには、もう一度フッキングする**

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	通常のキャッチホンの動作をします。（注１）	呼び出し音が聞こえます。
複数チャネル（☛3-8ページ）のご契約がある場合	割込み音通知を「使用する」に設定（パソコンから設定 ☛3-13ページ、電話機から設定 ☛3-21ページ）した場合、通常のキャッチホンと同じようにかかってきた電話に出ることができます。（注２）	呼び出し音が聞こえます。（注３）
キャッチホン、複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。（注４）	お話し中音が聞こえます。(注４)

（注１）キャッチホン契約の場合、「割込み音通知」設定に関わらずキャッチホンの「プップッ…」という割込み音が聞こえます。
（注２）本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
（注３）別の電話機で着信しない場合、お話し中の電話機が割込み音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。
（注４）内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込み音通知を「使用する」に設定されていると、「プップッ…」という割込み音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

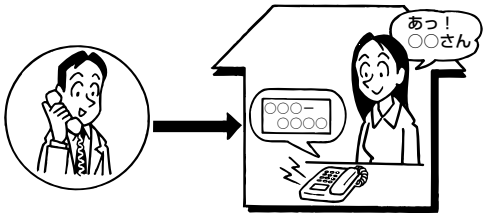
お知らせ

●「複数チャネル」にご契約でない場合は、「キャッチホン」のご契約が必要です。
●「複数チャネル」にご契約の場合は、「キャッチホン」のご契約はできません。
●フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。１秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

●ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
●複数チャネルで割込み音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込み音通知は動作しません。
別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



かけてきた相手の電話番号が通知される

●必要な設定

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。
（パソコンから設定 ☛3-12 ページ、電話機から設定 ☛3-21 ページ）
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
●電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

●ひかり電話ご契約時の内容
ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

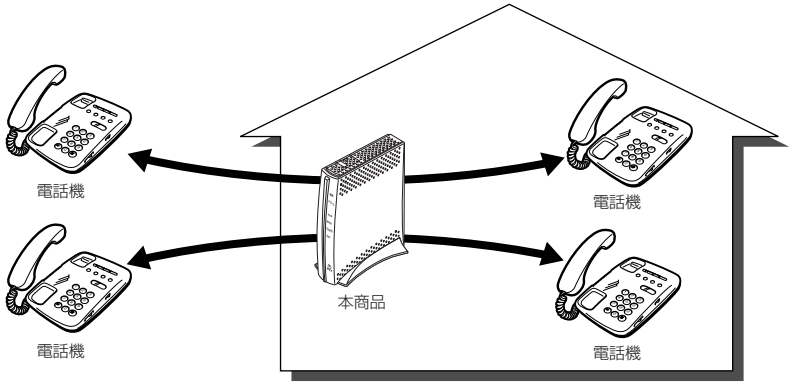
複数チャネルを利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前に複数チャネルのご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

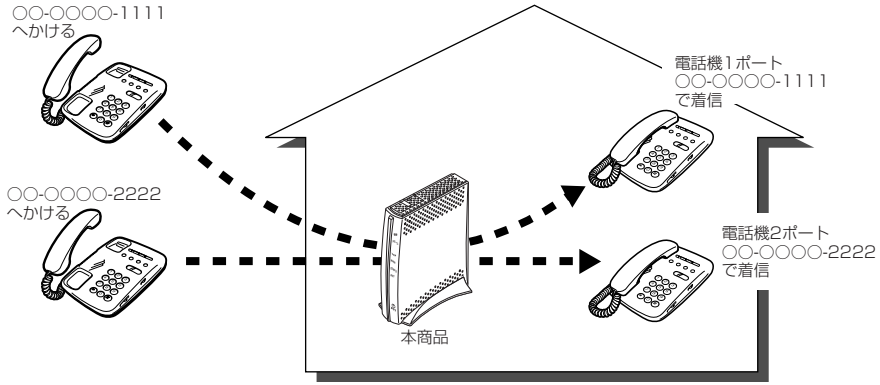
「■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」（☛3-5 ページ）をご覧ください。



追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前に追加番号のご契約が必要となります。



3-3 パソコンでひかり電話の設定をする

ひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品のLANポートにパソコンを接続し、Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ（http://ntt.setup/）を開き、メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」または、「内線番号設定」から行います。ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

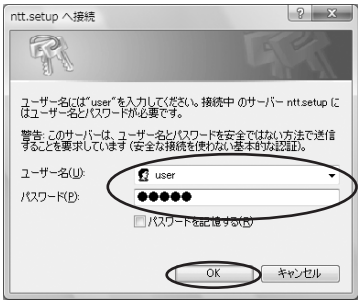
※はじめて本商品の「Web設定」ページ（http://ntt.setup/）を開く場合は本商品の初期設定を行ってください。（☛4-6ページ）

■「ひかり電話共通設定」画面で設定する

1 **Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」と入力し、「Web設定」ページを開く**

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.1.1です。）
例：http://192.168.1.1/

2 **ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-4　本商品へ無線LANの設定をする」（☛4-6ページ）手順2で入力した管理者パスワードを入力し［OK］をクリックする**



3 **メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する**

（次ページに続く）

4 「ひかり電話共通設定」画面で設定する

【ひかり電話設定】

①音声優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

・「なし」　音声優先制御を行いません。
・「優先」　音声パケットを優先処理します。
・「最優先」　音声パケットを最優先で処理します。

(初期値：なし)

②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

・「アナログ端末（電話機 1)」　電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・「アナログ端末（電話機 2)」　電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・「無効」　優先着信を行いません。

(初期値：無効)

※優先着信ポートを設定する場合は「内線番号設定」画面で次の設定が必要です。

・［電話設定］－［内線番号設定］の［内線番号一覧］で「アナログ端末（電話機 1)」と「アナログ端末（電話機 2)」の「内線番号」にチェックしてください。(☛3-11 ページ)
・［電話設定］－［内線番号設定］の［内線番号一覧］で「IP 端末 1」～「IP 端末 5」で「内線番号」のチェックをすべて外してください。(☛3-11 ページ)
・［電話設定］－［内線設定（アナログ端末)］の「アナログ端末（電話機 1)」と「アナログ端末（電話機 2)」で同一の着信番号を 1 つ以上選択し、「割込み音通知」を「使用しない」に設定してください。(☛3-13 ページ)

5 ［設定］をクリックする

■「内線番号設定」画面で設定する

1 「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開き、メニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する

2 「内線設定編集」で編集する内線番号を選択する

編集する内線番号を選択します。同時に使用できる内線番号は最大５つまでです。
※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。プルダウンメニューの番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
１～２	アナログ端末
３～７	IP 端末

3 [編集]をクリックする

＜手順２で「アナログ端末」の内線番号を選択した場合＞
[内線設定（アナログ端末）] の編集画面で、編集・設定します。（☛3-12 ページ）

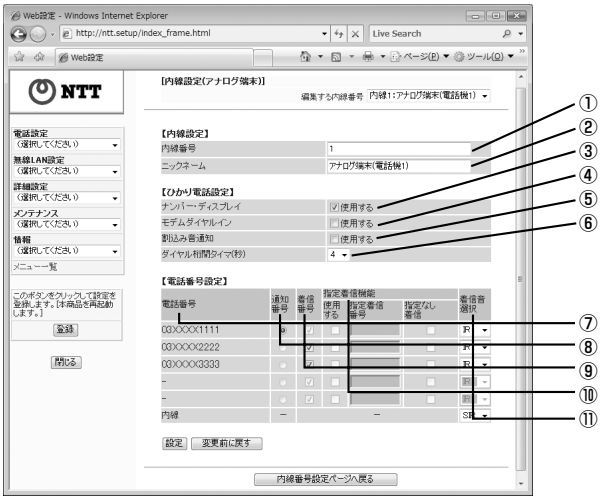
＜手順２で「IP 端末」の内線番号を選択した場合＞
[内線設定（IP 端末）] の編集画面で、編集・設定します。（☛3-15 ページ）

（次ページに続く）

4 ［内線設定］画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、 画面右上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。



【内線設定】

①内線番号

内線番号を入力します。
「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
（初期値：下記の表を参照）

②ニックネーム

ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、全角32 文字、半角64 文字まで入力できます。
（初期値：下記の表を参照）

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム
1	アナログ端末（電話機１）
2	アナログ端末（電話機２）

【ひかり電話設定】

③ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。（ナンバー・ディスプレイについては ☛3-6ページ）
（初期値：使用する）
※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。

④モデムダイヤルイン	モデムダイヤルインを使用する場合にチェックします。 （初期値：使用しない）
⑤割込み音通知	複数チャネルでのお話し中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込み音を使用する場合にチェックします。（複数チャネルについては ☛3-8 ページ） （初期値：使用しない）
⑥ダイヤル桁間タイマ（秒）	電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。設定できる値は「4 ～ 8」（秒）です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。 （初期値：4 秒）
【電話番号設定】	
⑦電話番号	ご契約された電話番号（外線）が表示されます。
⑧通知番号	発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。 ※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。 ※「通知番号」に設定した電話番号に「指定着信機能」を設定しても相手先に「指定着信番号」は通知されません。 （初期値：契約者回線番号）
⑨着信番号	各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。 （初期値：すべての電話番号）

（次ページに続く）

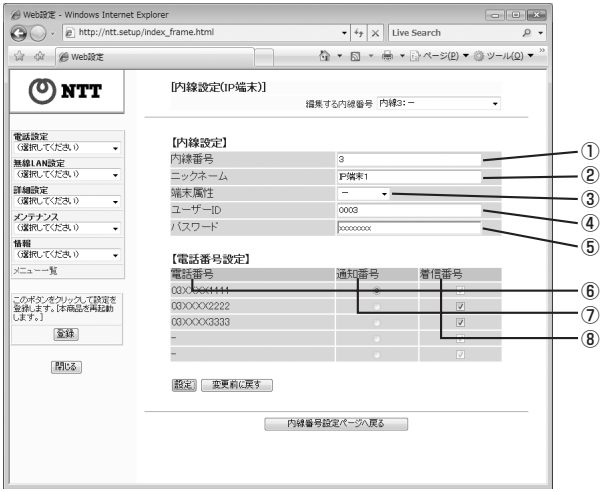
⑩指定着信機能	指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に使用する指定着信番号を入力します。（1～19桁の数字を入力してください。）指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は「指定なし着信」にチェックします。 ※指定着信機能は電話機1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん「使用する」のチェックを外してください。 （初期値：使用しない）
⑪着信音選択	電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。 ・「IR」 着信音が「1秒あり＋2秒なし」を繰り返します（「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴動します）。 ・「SIR」 着信音が「0.3秒あり＋0.3秒なし＋0.3秒あり＋2.1秒なし」を繰り返します（「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴動します）。 （初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）

お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- 着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

【内線設定（IP 端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、 画面右上の「編集する内線番号」で内線番号を選択すると、画面表示が切り替わり、続けて設定できます。



①内線番号

内線番号を入力します。
「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
（初期値： 3-16 ページの表を参照）

②ニックネーム

ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力できます。
（初期値： 3-16 ページの表を参照）

③端末属性

端末属性を「音声端末」、「映像端末」から選択します。
いったん、「音声端末」または「映像端末」を選択して設定すると「－」を選択することはできません。
内線設定を削除すると、端末属性は「－」に戻ります。
※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。
（初期値：「－」）

④ユーザー ID

任意のユーザー ID を入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大 32 文字です。
※ここで設定したユーザー ID と同じユーザー ID を、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP 端末によっては、空欄に設定する場合もあります。
（初期値： 3-16 ページの表を参照）

（次ページに続く）

⑤パスワード　任意のパスワードを入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大 32 文字です。
※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザー ID が空欄の場合は、パスワードは不要です。
（初期値：自動生成（半角 8 桁））

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム	ユーザー ID
3	IP 端末 1	0003
4	IP 端末 2	0004
5	IP 端末 3	0005
6	IP 端末 4	0006
7	IP 端末 5	0007

【電話番号設定】

⑥電話番号　ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

⑦通知番号　発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。
（初期値：契約者回線番号）

⑧着信番号　各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。
（初期値：すべての電話番号）

5 **［設定］をクリックする**

6 **［内線番号設定ページへ戻る］をクリックする**

7 **「内線番号一覧」で［最新状態に更新］をクリックする**

8 **設定した内線番号にチェックして［適用］をクリックする**
※最大 5 つの番号までチェックできます。

お知らせ

●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

内線番号設定

使用する内線番号を「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次の通り設定されています。
＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
1 ～ 2	アナログ端末
3 ～ 7	IP 端末

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面で設定する
（アナログ端末 ☛3-12 ページ、IP 端末 ☛3-15 ページ）

お知らせ

●本商品に接続可能な端末は最大 5 台までですので、同時に使用できる内線番号は最大 5 つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「電話番号設定」で確認する
（アナログ端末 ☛3-13 ページ、IP 端末 ☛3-16 ページ）

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信番号」で設定する
（アナログ端末 ☛3-13 ページ、IP 端末 ☛3-16 ページ）

一斉着信

1つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信番号」で着信する電話番号にチェックする
（アナログ端末 ☛3-13 ページ、IP 端末 ☛3-16 ページ）
④ 着信させたいすべての内線番号について②、③をくり返して同様に設定する

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信音選択」で着信音を選択する
（アナログ端末 ☛3-14 ページ）

お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
●アナログ端末のみで設定できる機能です。

ダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」―「内線番号設定」を選択する
② 編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「ひかり電話設定」－「モデムダイヤルイン」で設定する
（アナログ端末 ☛3-13 ページ）

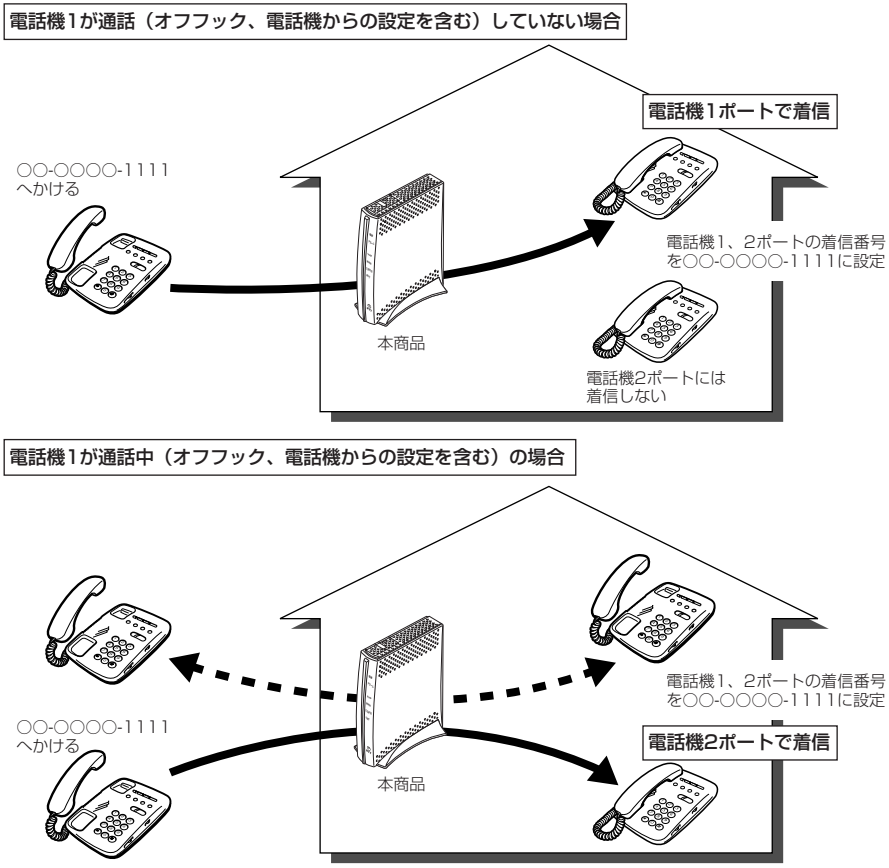
お知らせ

●モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書をご参照ください。
●アナログ端末のみで設定できる機能です。
●モデムダイヤルインの設定は電話機からも行えます。（☛3-21 ページ）

優先着信ポート

本商品の２つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。

【電話機 1 ポートを優先着信ポートに設定した場合】



※複数チャネルをご利用の場合、電話機 1 ポートが通話中（オフフック、電話機からの設定を含む）にかかってきた電話は、電話機 2 ポートにのみ着信します。

※1 チャネル契約でかつキャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機 1 ポートが通話中であっても電話機 2 ポートには着信しません。通話中の電話機 1 ポートにキャッチホンの「プップッ・・・」という割込み音が聞こえます。

●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話機設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する

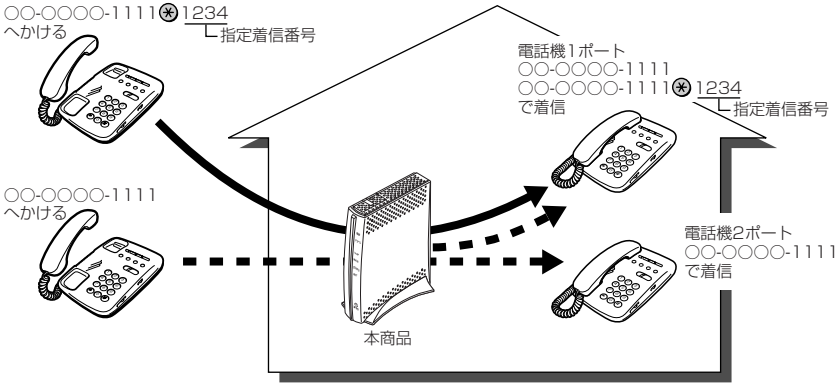
②「優先着信ポート」で優先する電話機ポートを選択する（☛3-10 ページ）

お知らせ

- ●優先着信ポートを有効に設定する場合は、電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を 1 つ以上設定している必要があります。電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を設定しない場合、優先着信ポートの設定は無効になります。
- ●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知はご利用になれません。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を設定すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログ端末を直接呼び出すことができます。



●設定方法

①「Web 設定」ページのメニューの「電話設定」－「内線番号設定」を選択する
②編集する内線番号を選択し、「編集」をクリックする
③「内線設定」画面の「電話番号設定」で指定着信機能を使用する電話番号の「指定着信機能」－「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に使用する指定着信番号を入力する（☛3-14 ページ）
④指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、「指定なし着信」にチェックする

お知らせ

- ●アナログ端末のみで設定できる機能です。
- ●指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-5 ページ）はご利用いただけません。
- ●追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は 1 つだけです。
- ●指定着信番号は 0 ～ 9 の任意の数字で、最大 19 桁となります。
- ●指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
- ●ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線や NTT 西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

3-4 電話機でひかり電話の設定をする

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。3-22 ページの設定例も参考にしてください。

1 ハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを
「✱ ✱ ✱ 9 9 ポート番号 ✱ 機能番号 ✱ 設定値 # #」と押す

ポート番号	
1	電話機 1
2	電話機 2

機能番号		設定値	
9 1	ナンバー・ディスプレイ設定	1	使用する
		2	使用しない
9 2	モデムダイヤルイン設定	1	使用する
		2	使用しない
9 3	割込み音通知設定	1	使用する
		2	使用しない

複数の設定を一度に行う場合は「設定値 # 」のあとに続けて
「ポート番号 ✱ 機能番号 ✱ 設定値 # 」
と押します。
すべての設定が終わったら、最後に「 # 」を押してください。
設定が終了すると、「ププ、ププ」と聞こえます。

3 ハンドセットを置く

〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを
「✱ ✱ ✱ 9 9 ① ✱ 9 ① ✱ ② # #」と押す

ポート番号	電話機 1

設定値	使用しない

機能番号	ナンバー・ディスプレイ設定

設定が終了すると、「ププ、ププ」と聞こえます。

3 ハンドセットを置く

お知らせ

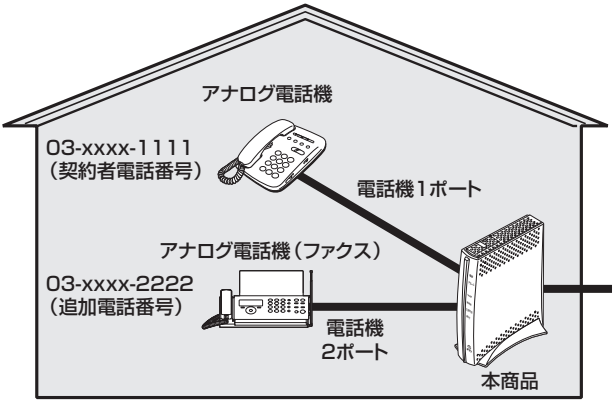
- ●電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- ●1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ●ファームウェアの自動バージョンアップ実行中のとき、ファームウェアの自動バージョンアップ予約中は、「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえ、電話機からの設定は行えません。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知は設定できません。割込み音通知の設定を行うと「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえます。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込み音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
- ●電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-5 複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する

ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。
ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。
通知番号、着信番号、着信音、指定着信機能の設定は、「Web 設定」の[電話設定]で行います。設定方法については、「3-3　パソコンでひかり電話の設定をする」(☛3-9ページ) を参照してください。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】
- 追加番号（2 番号）
- 複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】
アナログ端末（電話機 1）

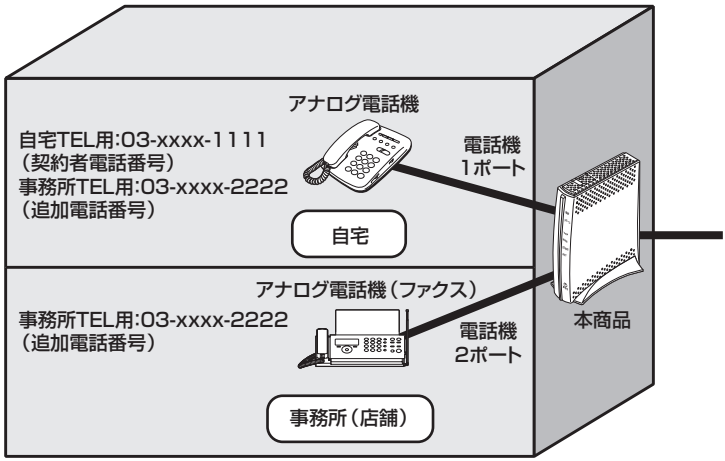
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	−

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●追加番号（2 番号）

●複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

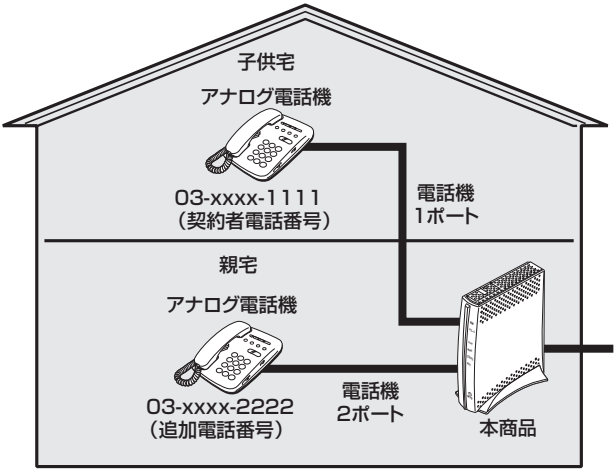
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

2世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- 追加番号（2番号）
- 複数チャネル

※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

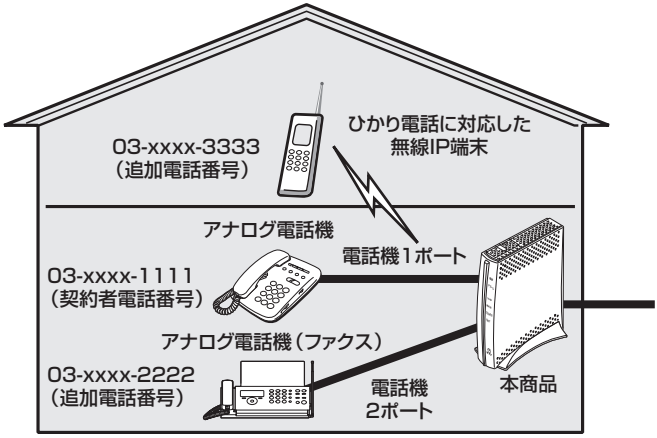
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR
03-xxxx-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR

ひかり電話に対応した無線 IP 端末を利用したいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●追加番号（3 番号）

●複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-3333	○ 通知しない	☐ 着信しない	−

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-3333	○ 通知しない	☐ 着信しない	−

IP 端末 1

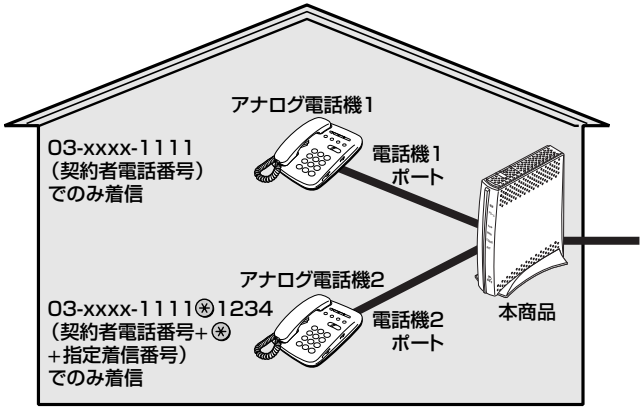
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-3333	◉ 通知する	☑ 着信する	−

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。

追加番号を利用せず指定着信機能を利用して特定のアナログ端末で着信したいときには

【利用例】

「03-xxxx-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機１のみ着信させる。
「03-xxxx-1111 ⊛1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機２のみ着信させる。



【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	☐ 使用しない	−	−	IR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	☑ 使用する	1234	☐ 着信しない	IR

※「Web 設定」ページの「電話設定」－「内線設定（アナログ端末）」画面の「電話番号設定」で「指定着信機能」－「使用する」にチェックし、「指定着信番号」に「1234」（指定着信番号）を入力します。
指定着信番号あり/なしの両方の着信を受ける場合は、「指定なし着信」にチェックします。

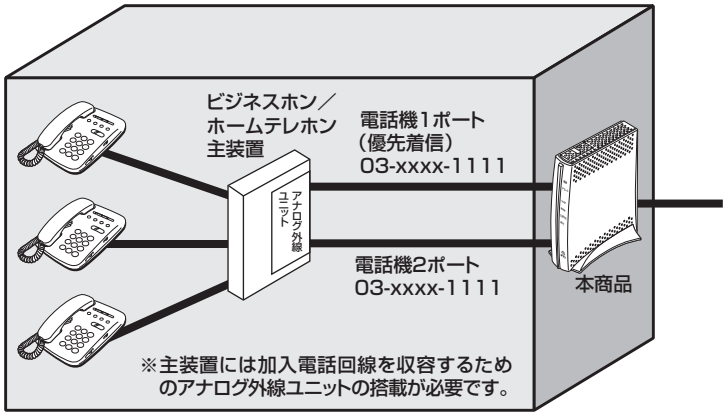
お知らせ

●アナログ端末のみで使用できる機能です。
●指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。
●遠隔検針などでご利用いただけます。

本商品にビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムを接続して使用するには

【利用例】

本商品の電話機 1、2 ポートとビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続し、「03-xxxx-1111」にかかってきた場合は、優先的に電話機 1 ポートに着信させる。



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●複数チャネル

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

【優先着信ポートの設定】

①「Web 設定」ページのメニューの「電話機設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する
②「優先着信ポート」で「電話機 1 ポート」を選択する（☛3-10 ページ）
※優先着信ポートの詳細については「優先着信ポート」（☛3-19 ページ）を参照してください。

お知らせ

●本商品の電話機ポートにビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続するには、加入電話回線を収容するためのアナログ外線ユニットが搭載されている必要があります。
●本商品の電話機ポートにビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置を接続するには、工事担当者によるビジネスホンシステム／ホームテレホンシステム主装置へのシステム設定と接続工事が必要です。お使いのビジネスホンシステム／ホームテレホンシステムの工事・保守お問い合わせ先へご連絡ください。

4 無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらをご覧ください。

4-1　設定方法を確認してください……4-2
4-2　無線LAN 設定の流れ ……4-3
4-3　本商品への無線LANカードの取り付け …4-4
4-4　本商品へ無線LANの設定をする ……4-6

4-1 設定方法を確認してください

本商品は、「AD-200NE 専用 CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して設定する方法と、Web ブラウザ（Internet Explorer など）で設定する方法の２つの方法があります。本商品のご利用方法に合わせて、設定を行ってください。

「まるごと設定ツール」を使用して設定する場合	Web ブラウザ(Internet Explorer など)で設定する場合
パソコンの OS が Windows Vista™ および Windows® XP/2000 の場合	パソコンの OS が Windows Vista™および Windows® XP/2000/Me/98、Mac OS X/9.x/8.x の場合
「AD-200NE 専用 CD-ROM」をパソコンにセットし、「まるごと設定ツール」を起動します。 詳しくは、付属の「最初にお読みください」をご覧ください。	この取扱説明書を読み進んで設定を完了させてください。

STOP お願い

- ●インターネットの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。
- ●本商品の設定を変更するときに限り、本商品の LAN ポートにパソコンを接続してください。

4-2 無線 LAN 設定の流れ

本商品で無線 LAN をご利用になるには次の手順で設定を行ってください。

本商品に無線 LAN カードを取り付けます。
「4-3 本商品への無線 LAN カードの取り付け」（☛4-4 ページ）

↓

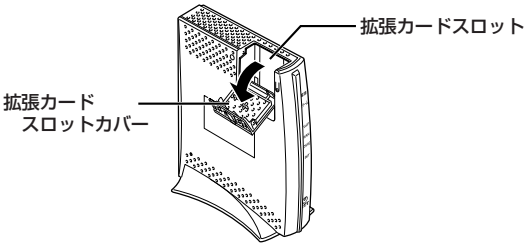
本商品へ無線 LAN の設定を行います。
「4-4 本商品へ無線 LAN の設定をする」（☛4-6 ページ）

4-3 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32NE」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

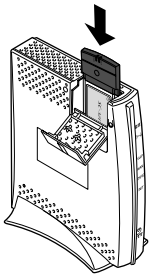
●装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
●本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32NE」のみです。

1 本商品の側面の拡張カードスロットカバーを開く



2 無線LANカード（SC-32NE）を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通りSC-32NEのACTランプ、PWRランプが見える面を外側にして正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。

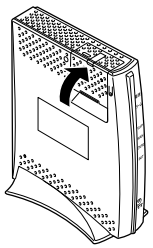


※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

3 **本商品の電源コードを接続する**

SC-32NE の ACT ランプ、PWR ランプが緑点滅することを確認してください。

4 **拡張カードスロットカバーを閉じる**



無線 LAN カードを取り外すときのご注意

本商品から無線 LAN カード（SC-32NE）を取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

STOP お願い

●電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。

4-4 本商品へ無線LANの設定をする

「Web設定」を起動する

あらかじめ本商品のLANポートにパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。設定画面が開けない場合には、「7-1　パソコンのネットワーク設定」（☛7-2ページ）をご覧のうえ、パソコンとの接続を確認してください。

1 Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」と入力し、「Web設定」ページを開く

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.1.1です。）
例：http://192.168.1.1/

2 管理者パスワードの初期設定を行い、［設定］をクリックする

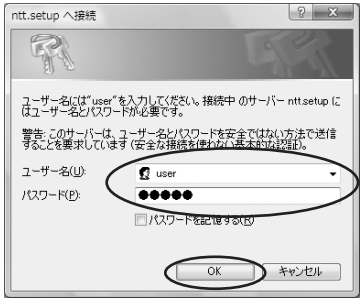
画面にしたがって任意の文字列（半角英数字で最大64文字まで）を入力してください。
2回目以降は手順3に進みます。

管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード	

管理者パスワードは上記の表に記載しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛7-18ページ）

3 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順2で入力した管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする



4 「Web設定」の「トップページ」が表示されることを確認する

お知らせ

- インターネットへの接続は、加入者網終端装置（CTU）に接続したパソコンから行います。
- LANポートに空きがないときは、LANポートに接続している有線IP端末を外してパソコンを接続してください。

無線 LAN の設定をする

本商品の LAN ポートにパソコンを接続し、Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開き、メニューの［無線 LAN 設定］ー［無線 LAN 設定］から、本商品に関する無線 LAN セキュリティの設定を行います。
ここでは、「無線の暗号化」を、「WPA-PSK（TKIP)」に設定する場合を例に説明します。暗号化を設定することで、無線通信でやり取りするデータを暗号化します。データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

1 ［無線ネットワーク名（SSID)］で本商品の無線ネットワーク名（SSID）を確認する

本商品の無線ネットワーク名（SSID）はひかり電話に対応した無線 IP 端末から接続する際に必要になりますので控えておきましょう。

無線ネットワーク名（SSID）

本商品の無線ネットワーク名（SSID）の初期値は、本商品側面のラベルに記載されている AD200NE-XXXXXX（XXXXXX は本商品の LAN 側の MAC アドレスの下 6 桁）です。

2 ［暗号化］の［無線の暗号化］を「WPA-PSK（TKIP)」に設定する

3 ［暗号化］の［事前共有キー（PSK)］に 8 ～ 63 桁で半角英数字の任意の文字列を入力する

画面は［事前共有キー（PSK)］として「NTTAD200NE」に設定した場合の例です。

4 ［設定］をクリックする

5 ［登録］をクリックする

STOP お願い

- 無線 LAN セキュリティの設定を変更する場合は、ひかり電話に対応した無線 IP 端末の設定も変更してください。変更しないと通信できない場合があります。

5 本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

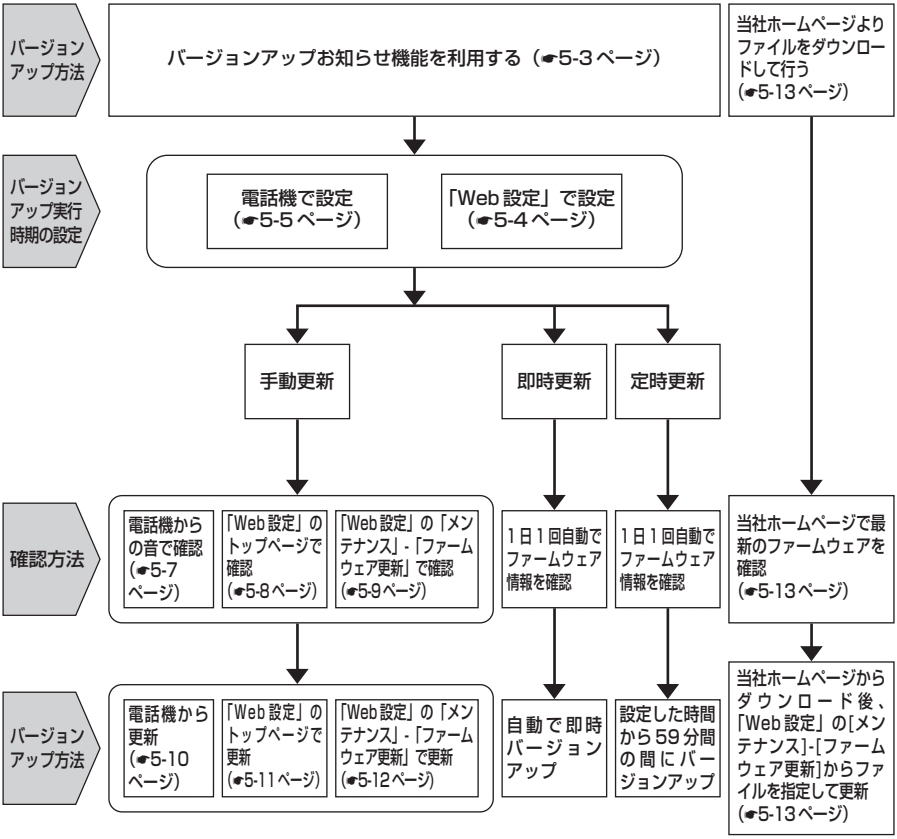
5-1　本商品のバージョンアップの流れ ……5-2

5-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする ……5-3

5-3　当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする ……5-13

5-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。



お知らせ

●本商品を起動したときに最新のファームウェアがある場合は、その時点でバージョンアップされます。

5-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。
※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。
バージョンアップ方法には以下の２通りの方法があります。

●バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛ 下記）
1.バージョンアップお知らせ機能の機能概要
2.バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する
3.最新のファームウェアがあるか確認する
4.バージョンアップ方法

●当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛5-13ページ）

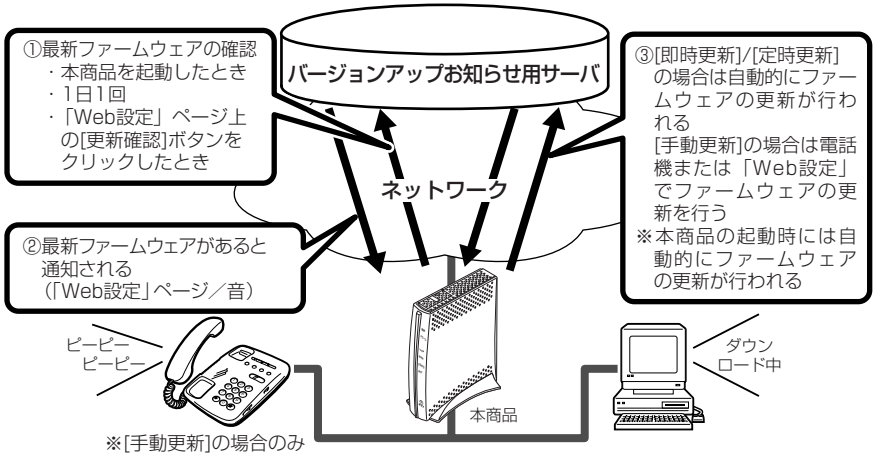
バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。この機能は、本商品を起動したとき、定期的に１日１回、および「Web 設定」の画面で［更新確認］ボタンをクリックしたときに動作します。
最新ファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

●本商品にパソコンを接続して「Web 設定」（「トップページ」および［メンテナンス］－［ファームウェア更新］）にて確認する
（「更新されたファームウェアが公開されています。…」と表示されます。）

●本商品に接続された電話機のハンドセットを取りあげた際の音で確認する
（最新のファームウェアがある場合は「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。）
※［手動更新］の場合のみ

本商品を起動したときに最新のファームウェアがある場合は、その時点でバージョンアップされます。



バージョンアップ実行時期（ファームウェア更新種別）を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。
※設定した時間に自動的にバージョンアップを行う［定時更新］に設定することをお勧めします。

［ファームウェア更新種別］	
即時更新	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、すぐに自動的にバージョンアップを行います。 ※［更新確認］をクリックした場合は、最新のファームウェアが公開されていても、バージョンアップは行いません。すぐにバージョンアップを行いたい場合は、［ファームウェア更新］をクリックしてください。
定時更新	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを確認後、設定した［定時更新時間］から59分間の間に自動的にバージョンアップを行います。
手動更新（初期値）	バージョンアップお知らせ機能で最新のファームウェアがあったことを「Web 設定」の画面、「電話機のハンドセットを取りあげた際の音」でお知らせします。バージョンアップは、「Web 設定」のページ（☛5-11 ページ）または電話機（☛5-10ページ）から行います。

〈「Web 設定」で設定する場合〉

1 「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開く

2 [メンテナンス]の ⌄ をクリックし、[ファームウェア更新]をクリックする

3 [ファームウェア更新種別]で[即時更新/定時更新/手動更新]から選択する

4 [定時更新]を選択した場合は、[定時更新時間]を設定する

5 [設定]をクリックし、[登録]をクリックする

お知らせ

- 「即時更新」、「定時更新」を選択した場合は、自動的にバージョンアップが行われます。なお、自動バージョンアップ中は、通話ができず、その間は緊急通報などもかけることができませんのでご注意ください。
- 「定時更新」、「手動更新」を選択した場合も本商品の起動時に最新のファームウェアが公開されていれば自動的にバージョンアップされます。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、「ファームウェア更新種別」の設定に関わらずファームウェア更新が行われることがあります。前面のアラームランプと INIT ランプが同時に赤点灯している間は絶対に電源を切らないでください。

〈電話機で設定する場合〉

●ファームウェア更新種別を選択する

1 電話機のハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを
「✱ ✱ ✱ 8 8 ファームウェア更新種別 設定値 # #」と押す

ファームウェア更新種別		設定値
1	即時更新	なし
2	定時更新	24時間を2桁で入力します。 （00～23の2桁） 例）9時の場合：0 9
9	手動更新	なし

3 「ププ、ププ」という音が聞こえたらハンドセットを置く

続けて本商品を再起動します。

●本商品を再起動する

1 電話機のハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを「✱ ✱ ✱ 9 9 ✱ 9 9 # #」と押す

3 「ププ、ププ、・・・」という音が聞こえたらハンドセットを置く

お知らせ

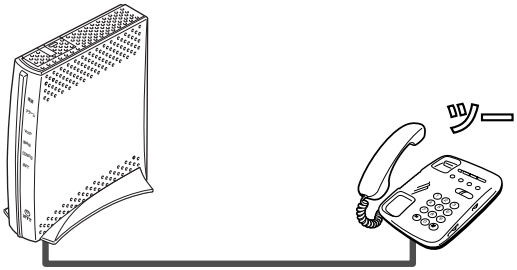
- ●電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ●ファームウェアの自動バージョンアップ実行中のとき、ファームウェアの自動バージョンアップ予約中は、「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえ、電話機からの設定は行えません。
- ●電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ●ファームウェア更新種別の設定を有効にするためには、本商品の再起動が必要です。
- ●ひかり電話使用中および使用後一定時間は、本商品の再起動は行われません。使用後に本商品の再起動が行われます。ただし、一定時間使用が終了しない場合は、本商品の再起動は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度、本商品の再起動を行ってください。
- ●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

最新のファームウェアがあるか確認する（[手動更新] の場合）

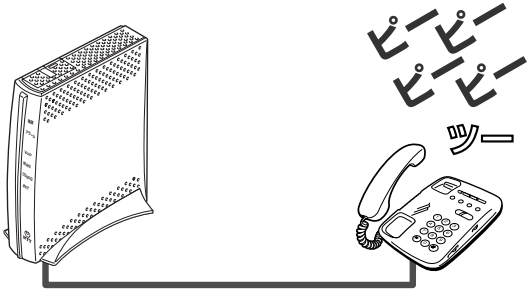
〈電話機からの音で確認する場合〉

[ファームウェア更新種別] を [手動更新] に設定した場合（☛5-4 ページ）電話機の音で最新のファームウェアがあるか確認できます。確認は本商品の電話機ポートに接続された電話機から行ってください。

●最新ファームウェアがないとき
電話機のハンドセットを取りあげると「ツー」という音が聞こえます。（通常と変わりはありません。）
※電話の発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。



●最新ファームウェアがあるとき
電話機のハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。
※電話の発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。
※ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。



ファームウェアを更新する場合は、電話機または「Web 設定」で行います。
電話機の場合：☛5-10 ページへお進みください。
「Web 設定」の場合：
「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開き、「バージョンアップ方法」ー〈「Web 設定」のトップページで更新する場合〉（☛5-11 ページ）へお進みください。

〈「Web 設定」のトップページで確認する場合〉

［ファームウェア更新種別］を［手動更新］［定時更新］に設定した場合、表示されます。

1 「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開く

2 トップページに「更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は［ファームウェア更新］をクリックしてください。」と表示される

※ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。

➡ ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」ー〈「Web 設定」のトップページで更新する場合〉（☛5-11 ページ）へお進みください。

〈「Web 設定」の［メンテナンス］ー［ファームウェア更新］で確認する場合〉

［ファームウェア更新種別］を［手動更新］［定時更新］に設定した場合、表示されます。

1 「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開く

2 ［メンテナンス］の をクリックし、［ファームウェア更新］をクリックする

3 「ファームウェア更新情報」に「更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は［ファームウェア更新］をクリックしてください。」と表示されることを確認する

※最新の状態を確認するには、［更新確認］をクリックしてください。

※［即時更新］が選択されている場合も［更新確認］をクリックした時点では、ファームウェアは更新されません。
ファームウェア更新情報が更新されます。

ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」ー〈「Web 設定」の［メンテナンス］ー［ファームウェア更新］で更新する場合〉（☛5-12 ページ）へお進みください。

バージョンアップ方法（[手動更新] の場合）

[手動更新] の場合、「最新のファームウェアがあるか確認する」（☛5-7 ページ）で最新ファームウェアの提供が確認されたら、それぞれの手順にしたがって更新を行ってください。

〈電話機から更新する場合〉

電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合には、 更新されたファームウェアがあります。本商品の電話機ポートに接続された電話機から下記の手順で行ってください。

1 **電話機のハンドセットを取りあげる**

2 **電話機のダイヤルボタンを「✳✳✳①①」と押す**

3 **「ププ、ププ、・・・」という音が聞こえたら、ハンドセットを置く**

> **!** **ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。**

お知らせ

- 電話機からバージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、バージョンアップできません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」 という音が「ツー」の前に聞こえた場合でも、通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。
- ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。
- バージョンアップ中は、本商品のアラームランプと INIT ランプが赤点灯します。その後、アラームランプと INIT ランプは消灯し通常のランプ表示に戻ります。

〈「Web 設定」のトップページで更新する場合〉

「Web 設定」のトップページに更新ファームウェア情報が表示されています。

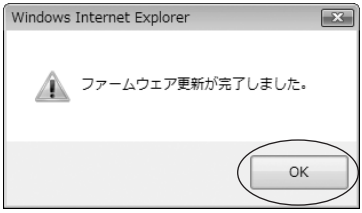
1 ［ファームウェア更新］をクリックする

ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。
ファームウェアのダウンロードが始まり、引き続きファームウェアの更新が始まります。

ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

2 ［OK］をクリックする

電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



〈「Web 設定」の［メンテナンス］ー［ファームウェア更新］で更新する場合〉

「Web 設定」の［メンテナンス］ー［ファームウェア更新］に更新ファームウェアの情報が表示されています。

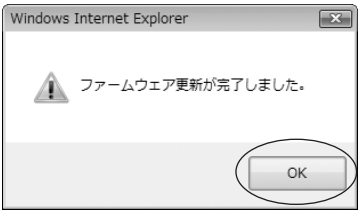
1 ［ファームウェア更新］をクリックする

ファームウェアのダウンロードが始まり、引き続きファームウェアの更新が始まります。

ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

2 ［OK］をクリックする

電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



お願い

- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。
- バージョンアップを行うと通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN 側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- 本商品のバージョンアップが行われている場合や、本商品の再起動を行っている場合は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。
  最新の取扱説明書などが必要なときは、当社ホームページよりダウンロードしてください。
- バージョンアップ中は、本商品のアラームランプと INIT ランプが赤点灯します。その後、アラームランプと INIT ランプは消灯し通常のランプ表示に戻ります。

5-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web 設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

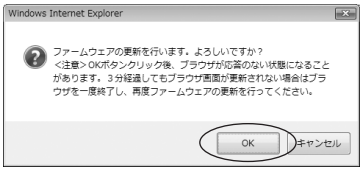
2 「Web 設定」ページ（http://ntt.setup/）を開く

3 ［メンテナンス］の をクリックし、［ファームウェア更新］をクリックする

4 ［ファイル指定］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

［現在のバージョン］には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 ［更新］をクリックし、［OK］をクリックする

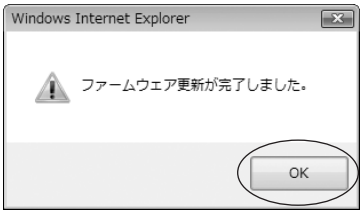


しばらくすると、「Web 設定」の画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源を OFF にしないでください」と表示されます。

> **!** ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

6 ［OK］をクリックする

電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



STOP お願い

- ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、ファイルを指定して本商品のバージョンアップを行うことができません。ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。
- ●バージョンアップを行うと通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- ●本商品のバージョンアップが行われている場合や、本商品の再起動を行っている場合は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- ●バージョンアップ中は、本商品のアラームランプとINITランプが赤点灯します。その後、アラームランプとINITランプは消灯し通常のランプ表示に戻ります。
- ●バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- ●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- ●このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- ●バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- ●本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。
  最新の取扱説明書などが必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

6 故障かな？と思ったら

**トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。**

6-1　設置に関するトラブル……6-2
6-2　ご利用開始後のトラブル……6-6
6-3　停電復旧後のトラブル……6-8

6-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

■ひかり電話ご利用時

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（a 参照）

↓はい

本商品前面のアラームランプは消灯していますか？ →いいえ（b 参照）

↓はい

本商品前面の WAN ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（c 参照）

↓はい

本商品前面の CONFIG ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（d 参照）

↓はい

本商品前面の VoIP ランプが緑点灯していますか？ →いいえ（e 参照）

↓はい

ひかり電話が使えますか？ →いいえ（f 参照）

■パソコンからの設定時

本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（g 参照）

↓はい

パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ →いいえ（h 参照）
（IP アドレスの確認方法は、7-4、7-6、7-8、7-10、7-14、7-15 ページをご覧ください）

↓はい

Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？ →いいえ（i 参照）

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●INIT ランプも赤点灯している場合は、ファームウェアのバージョンアップ中です。 バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.本商品前面の WAN ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない	●本商品と加入者網終端装置（CTU）の両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ケーブルが本商品の WAN ポートと加入者網終端装置（CTU）の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。

d.本商品前面のCONFIGランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
CONFIGランプが消灯している	●ひかり電話の設定がされていません。そのまましばらくお待ちください。
CONFIGランプが緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、VoIPランプとCONFIGランプが緑点灯することを確認してください。
CONFIGランプが赤点灯している	●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
CONFIGランプが赤点滅している	●本商品のWAN側を中心に接続構成を確認してください。 WANポートにLANケーブルが正しく接続されていることや、加入者網終端装置（CTU）に電源が入っていることを確認してください。 ●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、VoIPランプとCONFIGランプが緑点灯してから再度実施してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

e.本商品前面のVoIPランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
VoIPランプが消灯している	●CONFIGランプが緑点灯していることを確認してください。消灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

f.ひかり電話が使えない

症　状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。詳しくは、NTTホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などである場合、または電話機のACR機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6分～10分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を再度入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

g.本商品背面のLINKランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINKランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LANボードまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属しているLANケーブルをお使いください。 ●再度本書の「2-1　設置・接続」（☛2-2ページ）をご覧のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。

h.パソコンのIPアドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「7-1 パソコンのネットワーク設定」（☛7-2ページ）をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b.「7-1 パソコンのネットワーク設定」（☛7-2ページ）をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

i.Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「7-1 パソコンのネットワーク設定」（☛7-2ページ）をご覧のうえ確認してください。 ●Web ブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。（☛7-11ページ） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。（☛7-11ページ） ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript®」を有効に設定してください。（☛7-12、7-16ページ） ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応OSの確認と Web ブラウザの準備」（☛1-7ページ）をご覧のうえ確認してください。

6-2 ご利用開始後のトラブル

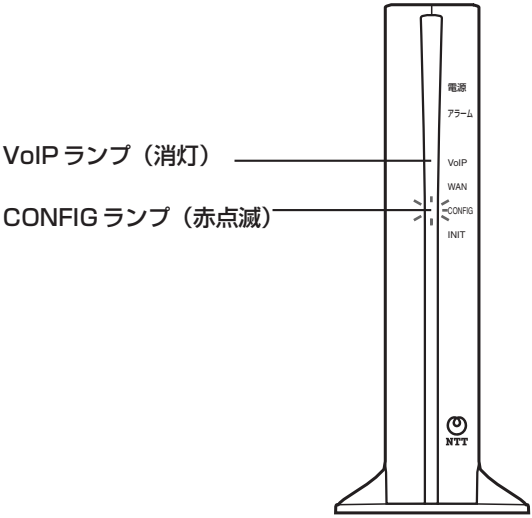
症　状	原因と対策
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが…と競合していることが検出されました。」 というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows Vista™および Windows® XP の場合〉 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Windows® 2000 の場合〉 ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Windows® Me/98 の場合〉 ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］をクリックします。 ②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックします。 ③Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。 ④［解放(S)］をクリックして、IP アドレスが［0.0.0.0］になることを確認します。「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤［書き換え(N)］をクリックして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「✱✱✱①①」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（☛5-10 ページ）
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のバージョンアップが行われている場合や、本商品の再起動を行っている場合は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●INIT ランプも赤点灯している場合は、ファームウェアのバージョンアップ中です。 バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
電話機からの設定がエラーとなる	●ファームウェアの自動バージョンアップ実行中のとき、ファームウェアの自動バージョンアップ予約中は、「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえ、電話機からの設定は行えません。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込み音通知は設定できません。割込み音通知の設定を行うと「ピピッピピッ・・・」とエラー音が聞こえます。割込み音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込み音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
ひかり電話の音声品質が安定しない	●「Web 設定」の［電話設定］-［ひかり電話共通設定］の「音声優先モード」を「優先」または「最優先」に設定します。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。 IP 端末の機能および「通知番号」の設定は、IP 端末の取扱説明書をご覧ください。
無線 LAN 通信ができない	●本商品側面の拡張カードスロットに SC-32NE が正しく装着されているか「4-3　本商品への無線 LAN カードの取り付け」（☛4-4 ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は本商品に無線接続するひかり電話に対応した無線 IP 端末の取扱説明書を参照してください。

6-3 停電復旧後のトラブル

停電復旧後、ひかり電話がご利用できない場合があります。
本商品前面のVoIPランプが緑点灯しているかを確認してください。
VoIPランプが消灯、CONFIGランプが赤点滅している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、再度、電源を入れ直してください。

■停電復旧後、本商品前面のVoIPランプが消灯、CONFIGランプが赤点滅している場合



●対処方法

本商品の電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のVoIPランプ、CONFIGランプが緑点灯します。ひかり電話が利用できることを確認してください。

STOP お願い

●電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

7

付録

7-1　パソコンのネットワーク設定……7-2
7-2　無線IP端末の設定をする……7-17
7-3　本商品の初期化……7-18
7-4　用語集……7-19
7-5　索引……7-24
7-6　仕様一覧……7-26
7-7　インタフェース……7-27
7-8　お客様サポートのご案内……7-28

7-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続方法

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

〈パソコンのネットワーク設定、IP アドレスの確認〉

- Windows Vista™の場合
  →次ページをご覧ください。
- Windows® XP をご利用の場合
  → 7-5 ページをご覧ください。
- Windows® 2000 をご利用の場合
  → 7-7 ページをご覧ください。
- Windows® Me/98 をご利用の場合
  → 7-9 ページをご覧ください。
- Mac OS X をご利用の場合
  → 7-14 ページをご覧ください。
- Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合
  → 7-15 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。
本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）の「Web 設定」の［詳細設定］－［LAN 側設定］をご覧ください。

■ Web ブラウザの設定（Windows® のみ）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

- Windows® をご利用の場合
  → 7-11 ページをご覧ください。

■ JavaScript® の設定確認

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

- Windows® をご利用の場合
  → 7-12 ページをご覧ください。
- Mac OS をご利用の場合
  → 7-16 ページをご覧ください。

STOP お願い

●インターネットの接続や、NTT 西日本が提供する各種アプリケーションサービスを利用する場合は、加入者網終端装置（CTU）にパソコンを接続します。

Windows Vista™をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Windows Vista™の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

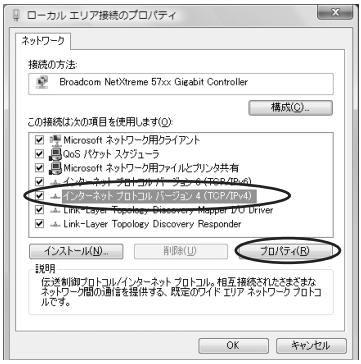
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする

3 ［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする

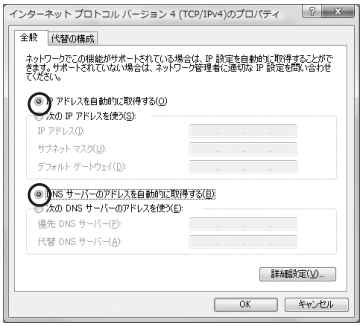
4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



6 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

●本書では、Windows Vista™の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

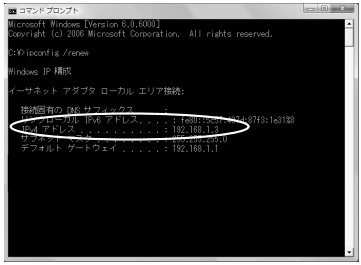
■IPアドレスの確認－パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［イーサネット　アダプタ　ローカル エリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが「192.168.1.xxx」になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）



5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Windows® XP をご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

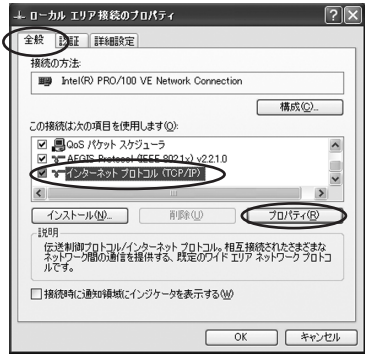
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

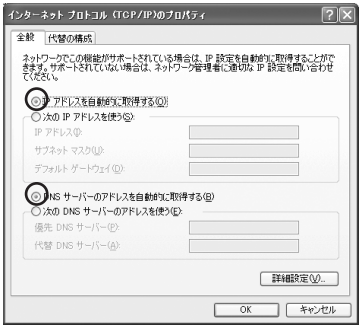
2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapterローカルエリア接続：］が表示され、IPアドレス（IP Address）が「192.168.1.xxx」になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

コマンド プロンプト
C:¥>ipconfig /renew
Windows IP Configuration
Ethernet adapter ローカル エリア接続:
Connection-specific DNS Suffix . :
IP Address. . . . . : 192.168.1.2
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
C:¥>

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

お知らせ

●本書では、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記載しています。

Windows® 2000 をご利用の場合

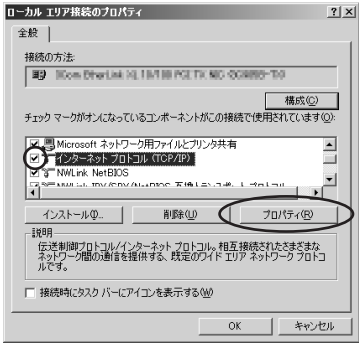
■ パソコンのネットワークの設定をする

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

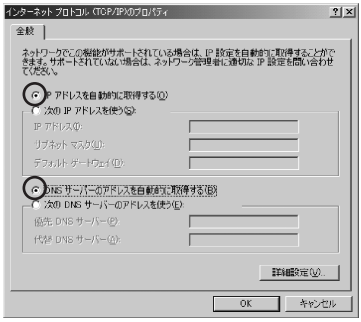
2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする



5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 − パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］−［プログラム］−［アクセサリ］−［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IPアドレス（IP Address）が［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

コマンド プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.
C:¥>ipconfig /renew
Windows 2000 IP Configuration
Ethernet adapter ローカル エリア接続:
Connection-specific DNS Suffix . :
IP Address. . . . . : 192.168.1.3
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
C:¥>

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

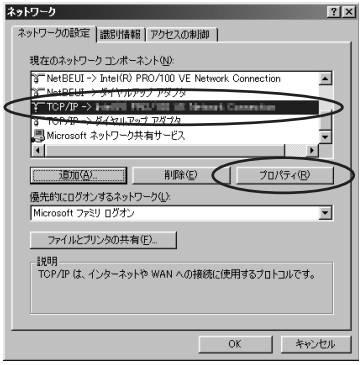
Windows® Me/98 をご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

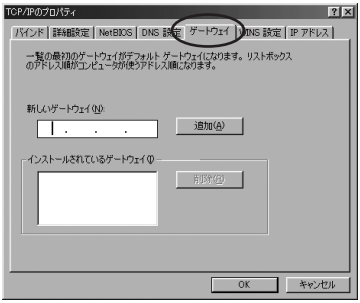
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3 リストの［TCP/IP–> お使いの LAN カード（またはお使いの LAN ボード）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

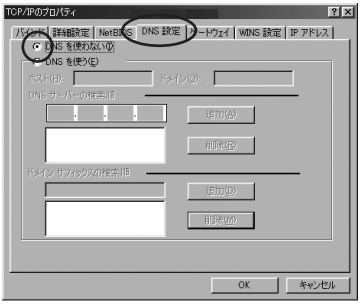


4 ［IP アドレス］タブをクリックし、［IP アドレスを自動的に取得］を選択する

5 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 ［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択する



7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

手順 4 ～ 6 で設定を変更した場合は、「再起動」を促すメッセージが表示されます。また、設定を有効にするためには、再起動が必要です。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

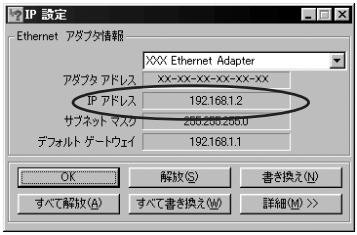
パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンを再起動してから確認してください。

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］から［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「winipcfg」と入力後、［OK］をクリックする

3 下の画面が表示されたら、▼をクリックし、お使いのLANカード／ボードを選択する

4 IPアドレスが［192.168.1.xxx］となっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）



5 ［OK］をクリックする

Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。
以下は、Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。

1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する**

> **Windows® 2000/Me/98 の場合**
> ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

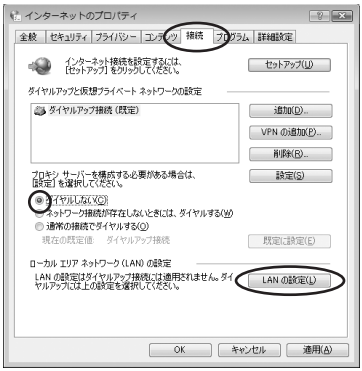
2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする**

> **Windows® XP の場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

> **Windows® 2000/Me/98 の場合**
> ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

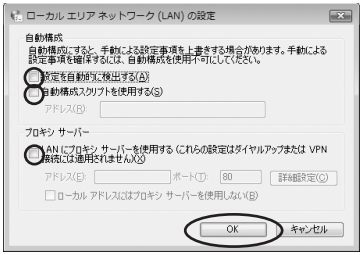
3 **［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する**

4 **［LAN の設定］をクリックする**



5 **［設定を自動的に検出する］、［自動構成スプリクトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする**

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



6 **［OK］をクリックする**

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript® の設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

> **Windows® 2000/Me/98 の場合**
> ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

> **Windows® XP の場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

> **Windows® 2000/Me/98 の場合**
> ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

3 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

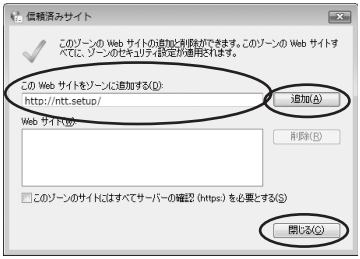
4 ［サイト］をクリックする

5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

6 [このWebサイトをゾーンに追加する]に「http://ntt.setup/」を入力して［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックする

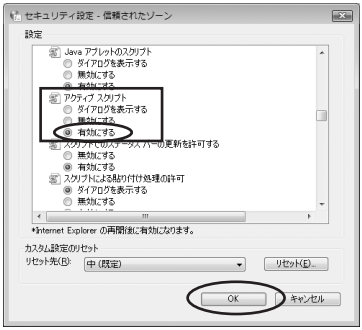
> **Windows® XP/2000/Me/98の場合**
>
> ［次のwebサイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」を入力して［追加］をクリックし、［OK］をクリックします。

※IPアドレス（工場出荷時は192.168.1.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。
（例：「192.168.1.1」）



7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする



9 ［OK］をクリックする

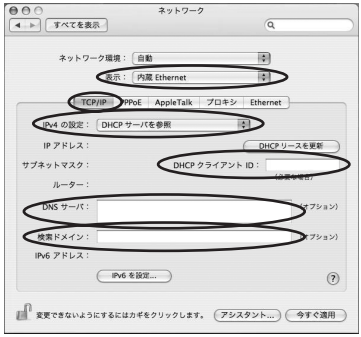
Mac OS X をご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックして、［IPv4 の設定］を［DHCP サーバを参照］にする

3 ［DHCP クライアント ID］と［DNS サーバ］、［検索ドメイン］を空白にする



4 ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IP アドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［TCP/IP］タブをクリックして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2 ～ 254 の数字です）

4 ウィンドウを閉じる

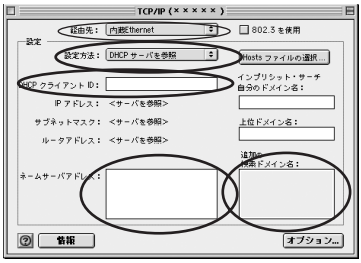
Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

1 アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く

2 ［経由先］を［内蔵 Ethernet］にする

3 ［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［ネームサーバアドレス］、［追加の検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる



4 確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックする

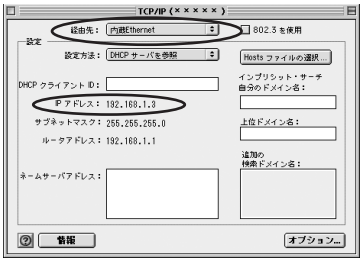
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IP アドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択する

3 ［経由先］を［内蔵 Ethernet］にして、IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.1.xxx」になっていることを確認する（xxx は 2～254 の数字です）



4 ウィンドウを閉じる

JavaScript® の設定をする（Mac OS）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※Web ブラウザの設定で、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの［Netscape］－［環境設定］をクリックする

3 ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5 ［OK］をクリックする

6 メニューバーの[Netscape]から[Netscape を終了]をクリックし、Netscape® を終了させる

7-2 無線 IP 端末の設定をする

本商品の無線 LAN の設定情報を次の手順で作成します。
無線 LAN の設定情報は、ひかり電話に対応した無線 IP 端末などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。
※まるごと設定ツールで設定中に設定情報をパソコンのデスクトップに保存することができます。確認画面が表示されますので、保存する場合は［はい］をクリックしてください。デスクトップに設定情報ファイルがすでに作成されている場合は、自動的に上書きされます。

1 **「まるごと設定ツール」を起動する**

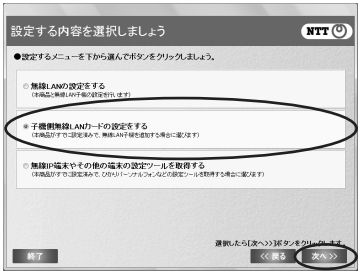
［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］（Windows® 2000 では［プログラム］）－［AD-200NE まるごと設定ツール］－［まるごと設定ツール］の順にクリックしてください。

Windows Vista™および Windows® XP/2000 で「まるごと設定ツール」を使用する場合、管理者権限を持つユーザー（Administrator など）でログオンしてください。

Windows Vista™の場合は［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら［続行］をクリックします。

2 **［設定を開始する］をクリックする**

3 **［子機側無線 LAN カードの設定をする］をクリックし、［次へ］をクリックする**



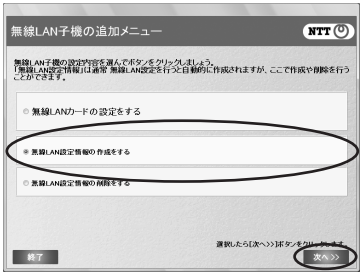
4 **接続を確認し、［次へ］をクリックする**

5 **「管理者パスワードを入力します」の画面が表示されるので「管理者パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする**

6 **「無線 LAN 設定を開始します」の画面が表示されるので、［次へ］をクリックする**

7 **［無線 LAN 設定情報の作成をする］を選択し、［次へ］をクリックする**

※無線 LAN 設定情報を削除する場合はここで［無線 LAN 設定情報の削除をする］を選択します。



8 **「無線 LAN 設定情報作成のための準備をしましょう」の画面が表示されるので、内容を確認し、［次へ］をクリックする**

9 **「無線 LAN 設定情報の作成が完了しました」の画面が表示されるので、内容を確認し、［終了］をクリックする**

無線 LAN 設定情報が作成されます。

7-3 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷状態に戻すことをいいます。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）の「Web 設定」の「メンテナンス」－「設定値の初期化」をご覧ください。
本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または管理者パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。
ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の設定が行われます。ひかり電話の設定が完了すると CONFIG ランプ、VoIP ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の設定がされている状態でも INIT ランプは赤点灯します。

■設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

1. いったん本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
2. 10 秒以上たってから、電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む
3. 本商品前面の全ランプが点灯している間に、本商品背面の INIT スイッチを押す（INIT ランプが赤点灯するまで押し続ける）

   起動後、INIT ランプが赤点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

お知らせ

●本商品に設定した情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

7-4 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

AES	Advanced Encryption Standard の略。 WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。AES は TKIP や WEP と比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY 接続拒否	無線 LAN 端末からの ANY 接続（どの無線 LAN アクセスポイントにも接続できる特殊な SSID）を拒否する機能。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP プロトコルを使用する各機器は、固有の IP アドレスを持つ必要がある。DHCP は、IP アドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、IP アドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IP アドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCP クライアント	DHCP サーバにより IP アドレスを割り当てられるシステム。
DHCP サーバ	DHCP を用いて IP アドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DNS	Domain Name System の略。 IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNS サーバ	ホスト名と IP アドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせに IP アドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11a	無線 LAN の規格の 1 つ。 5.2GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大 54Mbps。IEEE802.11b より大幅に高速になっている。
IEEE802.11b	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 11Mbps。
IEEE802.11g	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 54Mbps。IEEE802.11a よりも広い範囲で高速な通信ができる。
IP	Internet Protocol の略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。

IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bitの値をもち、8 bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。（例： 192.168.1.10）
IPマスカレード	NAT（IPアドレス変換）機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信においてサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
NTP	Network Time Protocolの略。 ネットワークを介して時刻を調整するプロトコル。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整する。
SIP	Session Initiation Protocolの略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つ。 RFC3261で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1つ。TKIPは、WEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。
VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。

WAN	Wide Area Network の略。 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザーが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録した上で通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 現在無線 LAN で広く使われている通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key の略。 WPA セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。 Pre-Shared Key を使うので、認証サーバを用意しなくても WPA セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbit/s の伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbit/s の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【あ行】

イーサネット（Ethernet）	LANの通信方式。10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線LAN端末から無線LANアクセスポイントを経由して行う無線LANの通信。

【か行】

加入者網終端装置（CTU）	回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置。
クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス(ネットワークアドレス)と、サブネット内での端末のアドレス(ホストアドレス)から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。
静的IPマスカレード	IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

チャネル	無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャネルどうしの帯域が重ならないような使用を推奨する。
ドメイン	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。
ひかり電話	NTT東日本／NTT西日本提供のIP電話サービス。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
プロキシサーバ	各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。
ポート番号	TCP/IPにおいて、ユーザーやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

無線LANアクセスポイント	有線LANとインフラストラクチャ通信に設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LAN端末どうしの通信の管理を行う。
無線ネットワーク名（SSID）	SSIDはService Set Identifierの略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名（SSID）を設定して使用する。

7-5 索引

CD-ROM の付いている用語は最新の「機能詳細ガイド」に記載されています。

[数字]

10/100BASE-T ランプ ……1-5

[A ～ Z]

AD-200NE 専用 CD-ROM ……20、22、1-2
CONFIG ランプ……1-4、3-2、6-8
INIT スイッチ ……1-5、7-18
INIT ランプ ……1-4、7-18
IP アドレス ……7-4、7-6、7-8、7-10、7-14、7-15、CD-ROM
　IP アドレスの確認
　　Mac OS 9.x/8.x……7-15
　　Mac OS X……7-14
　　Windows® 2000 ……7-8
　　Windows® Me/98……7-10
　　Windows Vista™ ……7-4
　　Windows® XP ……7-6
IP マスカレード ……7-20、CD-ROM
JavaScript® ……7-12、7-16
LAN ケーブル ……1-2、2-3
LAN ポート……1-5、2-3、7-27
　パソコンの LAN ポート ……1-6
LINK ランプ ……1-5
PSK ……4-7
SC-32NE ……15、1-3、1-6、4-4
SSID ……4-7
TKIP ……4-7
VoIP ランプ ……1-4、3-2、6-8
WAN ポート ……1-5、2-3、7-27
WAN ランプ ……1-4、3-2
Web 設定 ……4-6、CD-ROM
Web ブラウザ ……1-7、7-11
WEP ……CD-ROM
WPA-PSK ……4-7

[ア行]

アラームランプ……1-4
一斉着信 ……3-18
インタフェース ……7-27
お客様サポート ……7-28

[カ行]

回線に接続する……2-3
拡張カードスロット……4-4
各部の名前……1-4
管理者パスワード……4-6
加入者網終端装置（CTU）……2-3
機能詳細ガイド ……20
キャッチホン……3-5
故障かな？と思ったら……6-1
個別着信 ……3-17
ご利用開始後のトラブル……6-6

[サ行]

指定着信機能 ……3-20
仕様一覧 ……7-26
初期化 ……7-18
スタンド……1-2、2-2
静的 IP マスカレード ……7-22、CD-ROM
接続
　回線に～する……2-3
　本商品とパソコンの～を確認する ……7-4、7-6、7-8、7-10、7-14、7-15
設置する……2-2
設置に関するトラブル……6-2
設定する
　JavaScript® ……7-12、7-16
　Web ブラウザ ……7-11
　電話機でひかり電話の～ ……3-21
　内線番号 ……3-17
　パソコンでひかり電話の～……3-9
　パソコンのネットワーク
　　Mac OS 9.x/8.x ……7-15
　　Mac OS X……7-14

Windows® 2000 ……7-7
Windows® Me/98 ……7-9
Windows Vista™ ……7-3
Windows® XP ……7-5
複数の電話機での同時着信や使い分けを～……3-23
無線IP端末 ……7-17
無線LAN ……4-6
セットの確認……1-2

［タ行］

対応OSの確認……1-7
ダイヤルイン ……3-18
着信鳴り分け ……3-18
追加番号……3-8
停電復旧後のトラブル……6-8
電源アダプタ……1-2
電源アダプタコード端子……1-5
電源ランプ……1-4、3-2
電子マニュアル ……22
電話機ポート ……1-5、2-3、7-27

［ナ行］

内線通話……3-4
内線転送……3-4
ナンバー・ディスプレイ……3-6

［ハ行］

バージョンアップ……5-1
当社ホームページよりファイルをダウンロードして～する ……5-13
バージョンアップお知らせ機能を利用して～する……5-3
パソコンの準備……1-6
発信者情報（番号）の通知……3-7
ひかり電話
受けかた……3-4
かけかた……3-3
設定 ……3-9、3-21、3-23
電話番号 ……3-17
使いかた……3-2
付加サービス……3-5
複数チャネル……3-8
フッキング……3-4、3-5

［マ行］

まるごと設定ツール ……22、1-7、7-17
無線IP端末 ……7-17
無線LANカード ……1-3、4-4、4-5
取り付け……4-4
取り外す……4-5
無線LANの設定 ……4-6
無線LANポート ……7-26

［ヤ行］

用語集 ……7-19
優先着信ポート ……3-19

［ラ行］

ランプ表示 ……1-4、1-5、3-2

7-6 仕様一覧

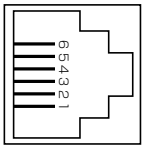
■ AD-200NE

項　目		仕　様
WAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	1ポート
	規格	100BASE-TX／10BASE-T（IEEE802.3u／IEEE802.3） オートネゴシエーション
LAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4ポート（スイッチングハブ内蔵）
	規格	100BASE-TX／10BASE-T（IEEE802.3u／IEEE802.3） オートネゴシエーション
無線 LAN ポート	物理インタフェース	PC Card Standard（CardBus）スロット ※オプションの無線 LAN カード SC-32NE 専用
	スロット数	1スロット
電話機ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	2ポート
	供給電圧	約－48 V（無負荷時）
ランプ表示	電源ランプ	電源通電時緑点灯
	アラームランプ	装置障害時赤点灯
	VoIP ランプ	ひかり電話利用可能時緑点灯、 ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中緑点滅
	WAN ランプ	WAN 回線利用可能時緑点灯、 WAN 回線でデータ通信中緑点滅
	CONFIG ランプ	ひかり電話設定完了時緑点灯、 ひかり電話設定中緑点滅、ひかり電話設定失敗時赤点灯／赤点滅
	INIT ランプ	工場出荷状態赤点灯
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
筐体外観		縦置き型
動作環境		温度：0～40 ℃　湿度：20～85 %　（結露しないこと）
外形寸法		約42（W）×177（D）×219（H）mm （突起部分を除く）
電源		AC100 ± 10 V 50/60 Hz
消費電力		最大 12 W
質量		約 1.1 kg （電源アダプタ含む）
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

7-7 インタフェース

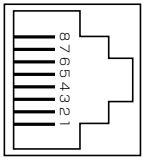
コネクタ形状

●電話機ポート



ピン番号	略称	入出力
1	−	未使用
2	−	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	−	未使用
6	−	未使用

●WAN ポート、LAN ポート（100BASE-TX／10BASE-T）



ピン番号	略称	入出力
1	TD＋	入力
2	TD−	入力
3	RD＋	出力
4	−	未使用
5	−	未使用
6	RD−	出力
7	−	未使用
8	−	未使用

7-8 お客様サポートのご案内

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：**0120-109217**（トークニイーナ）（9:00～21:00）

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：**0120-248995**※1（24時間　年中無休※2）

※1　携帯電話・PHSからも利用可能です。

※2　故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

©2007 NTTWEST

NTT

本2725-5 (2007.8)
AD-200NEトリセツ